

中小企業振興

平成24年8月1日(水曜日) (毎月1、15日発行) 第1077号

日暮里経営セミナー 24年度第1回を開催

中小機構と
荒川区主催

中小機構関東本部、
東京都荒川区主催の平
成24年度第1回「日暮
里経営セミナー」が7



月11日、
東京都荒
川区のホ
テルラン
グウッド
で午後6
時30分
から開か
れ、荒川
区や近隣
区の中小
企業者ら
が参加し
た。中小
・ベンチ
ャー企業
の創業・経営革新の推
進を目的に定期的に開
催している。今年度1
回目のテーマは「生産
管理」。関東本部の武藤
康信・経営支援チーフ
アドバイザーが納期遵
守率を上げる生産計画
の立て方・進め方につ
いて解説した。写真。
武藤氏は、まずPD
CA(生産管理、作業
実施、製造のチェック、
対応・対策)により納
期遵守と納期短縮を図
ることで顧客満足の維
持・向上、そして受注

拡大につながることを
指摘した上で、中小企
業における納期遵守が
できない原因や実態な
どを経験の中から浮き

彫りにし、Q(品質)・
・C(コスト)・D
(納期)について「当
たり前に対応しなければ
生き残れない」と述
べた。とくに生産計画
を立てることで「生産
管理、納期管理が実現
できる」とし、生産計
画の精度が高い「小日
程計画」の重要性を強
調、「計画単位を極力
小さくすることが大事
で、計画自体が絵に描
いた餅とならないよ
う、計画と実績の差を
短くすべき」と説明。
そして小日程計画の
運用について①対象製
品の重要度や優先順
序、並びに出荷計画に
合わせて計画を立案す
る②計画を具体化でき
る設備・作業者を割り
当てる③当該工程や手
作業の開始に先立っ

て、前工程の作業が完
了していることを確認
する。など10項目をあ
げて解説した。武藤氏
のアドバイスにより、
2倍以上の生産性向上
が図られ、納期遵守と
納期短縮の成果をあげ
た具体例などが紹介さ
れた。

日暮里経営セミナー
は、第2回(テーマ・
生産革新)を9月12日、
第3回(同・資金調達)

を11月14日、第4回(同・事業承継)を来開催される。